

# どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

8月号(NO47)通巻 197号

2022年8月10日(水)発行(毎月10日)

## 【農暦】朝採りのトマトは美味しい!

○酷暑が続く、気まぐれな冷気に戸惑いながら、その日だけは農作業が楽しい。その翌日の暑さが応える。暑さに順応し始めた身体が戸惑う。温暖化の気候は極端になると聞く。これが普通になりそうだ。そのうち酷暑の翌日に雪が降るのかも知れない。線状降水帯が山形・新潟など日本海側を襲った。水に浮かんだ家々がニュースで映し出されていた。次は我が身に起ってもおかしくない。異常気象が常態化して来ている。

○温暖化を止めるには自然を破壊する生産活動をやめることである。豊かな快適な生活を支えているが、この生産である。富裕な生活の在り方が問われている。快適な生活は中々手放し難い。温暖化に真剣になれないのはその辺にあるようだ。痛みを伴わない解決はないのかも知れない。異常気象が温暖化の警告のように、コロナは人類へ警告なのかも知れない。ウクライナは温暖化対策と真逆のことをしている。

○雨と風でトマトの支柱が倒され、何となく畑全体が荒れて見えた。木の枝も折れていた。地形や場所で大分違うよう

だ。道路に枯れ枝が散乱していた。トマトの支柱直し、弱

った枝葉の切除、菊の支柱建てなどをした。やはりダメージは大きいですが、それでも実を付けている。畝間の草だけ元気がいい。支柱直しと一緒に草取りをする。木の下に近い薩摩芋の葉が虫に食われたり、何となく元気が無い。木の実や葉が落ちていたが、その環境が悪かったのかもしれない。家や畑の周りの草の繁茂が凄い。特に蔓性の草は脅威である。

電動草刈りにしたので替え電池と併せ2本の電池切れを作業時間にしている。草の残りは多いのだが、体力的にちょうどいい。

○余り頑張っていない菜園でも、夏野菜が頑張ってくれている。トマト、茄子、ピーマン、シシトウ、胡瓜など少しづつだが採れている。ミニトマトは殊のほか美味である。実りの秋を期待しつつ、黒豆、薩摩芋ほかの除草などの手入れを続けたい。しばらくはトマトなどの収穫を楽しみたいと思う。(了)

【楽農】<畑>ブルーベリー最後の収穫。トマト、茄子、胡瓜など収穫、

黒豆などの草取り、風雨で倒れたトマト他の支柱立て直し。草刈りを繰り返し実施。

【楽市】イベントなど; ふれあい大学・カーボンゼロの夢物語講座(24日)川柳の会(4日)詩吟例会はコロナ拡大のため中止



<森の中の喫茶>29日撮影



<朝採りトマトなど>

【つぶやき=Tweet】核ボタンを押せば、人類の持続可能性は30分かもしれません！

○8日の朝日の素粒子欄に、“自宅にいる感染者が145万人。夏休み台無しだな”と数字に驚く、熱が出ても医者には掛かれない。医療崩壊を意味する。“欧州最大の原発に着弾。核の恐ろしさも、『原爆忌』の知らぬ兵士の所業だろうな”が次にある。ロシア兵が占拠している原発に着弾。ウクライナ、ロシアの双方が相手の仕業と言う。プロパガンダの意図が見え怖い話である。最近ではニュースは素直に聴けない。

○今年も広島、長崎で原爆慰霊祭が行われた。例年とは違うものを感じた。核脅威が現実のものになっているからだと思う。特に、広島県の湯崎知事の挨拶が気になった。今の世界を言い当てている。一ヶ月前には国連で訴えて来たと言う。広島出身の岸田総理がどう聞いたかが気になる。核共有を云う右派政治家を付度せず、平和外交を願いたいものである。



＜朝どり茄子＞5日撮影

○湯崎知事の挨拶；“ウクライナ侵略で世界が突然変わった訳

ではありません。世界の長い歴史の中で、理不尽で大量の死を招く暴力は、悪により、しかし、時に正義の衣をかぶりながら、連綿と繰り返されてきました。現在の民主国家と言われる国でさえ完全に無縁とは言い難いかもしれません。＜略＞ 力には力で対抗するしかない、という現実主義者は、なぜか核兵器について、肝心なところは、指導者は合理的な判断のもと「使わないだろう」というフィクションたる抑止論に依拠しています。本当は、核兵器が存在する限り、人類を滅亡させる力を使ってしまう指導者が出てきかねないという現実を直視すべきです。＜略＞ 地球温暖化は200年、パンデミックは2年超かけて、人類の持続可能性に疑義を突き付けました。核兵器は、誰かがボタンを押せば、人類の持続可能性は30分かもしれません。”

○今こそ平和外交が大事だという時に、アメリカのペロシ議長が台湾訪問した。アジアで火種を大きくしかねない。バイデン政権は歴代政権と同様、「1つの中国」政策をとっており、“ペロシ議長の台湾訪問”はバイデン政権の意図とは違うようだ。平和外交と真逆のこととしている。ペロシ議長には広島県知事の国連での言葉が届かなかったようで残念である。



＜朝どりトマト＞5日撮影

○青森、山形、新潟の豪雨被災のニュース、広島、長崎の原爆慰霊祭のニュースを見ながら、何か変えなければ、変われなければと、無力感の様な気分になっていた。核ボタンひとつで人類の持続可能性は30分かもと言う。やはり核は無くさねばならない。

○川柳の会で、温暖化について “いい湯だねカエルの自分忘れてる” と、自戒を込めて、自分自身を詠んだ。熱湯は寸前か？（了）

○断捨離考：ごみ捨励行のみ酷暑で気力出ず。

【後記】ノウモア広島・長崎をと！【HP転載】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com